### 全国重症心身障害児(者)を守る会

\*(再度ご案内) 令和元年度 近畿ブロック研修会



# 「重症心身障害児(者)の 生涯に渡る支援の実際と理念」

命和2年3月8日(日)

10:30~15:30 (受付 9:40)

滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海 大会議室

滋賀県大津市におの浜1-1-20 TEL:077-527-3315

開会挨拶

10:30~

全国重症心身障害児(者)を守る会

副会長・近畿ブロック長 小 山 京 子

来賓挨拶

10:35~11:00

来睿紹介

本部・支部長紹介

中央情勢報告

11:00~12:00

全国重症心身障害児(者)を守る会

副会長

社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会

事務局長 長井 浩・康

12:00~13:00

シンポジウム 「おめでとうからありがとうまで」  $13:00\sim15:00$ 

~重症心身障害児(者)の生涯に渡る支援の実際と理念~

びわこ学園医療福祉センター草津施設長 口分田 政 夫 氏

シンポジスト

座長

びわこ学園医療福祉センター草津第3病棟課長 **弥生**氏

河井 孝典 氏 えがお通所課長 利用者家族 大見 久美子 氏

質疑応答

15:00~15:25

閉会挨拶  $15:25 \sim 15:30$ 

主 催: 全国重症心身障害児(者)を守る会 近畿ブロック

全国重症心身障害児(者)を守る会

資料代: 500円(昼食のご希望の方はお申し込み下さい。

弁当・お茶代税込1,000円です)

申 込・: 大阪支部・事務局(申込は、必要事項(①~⑥)を記入の上、FAXまたは

メールにてお申し込み下さい。

①件名(令和元年度 近畿ブロック研修会 参加申込書)、②氏名・フリガナ、

③〒・住所、④電話・FAX連絡先、⑤所属など、⑥昼食の有無 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティーセンタ-2F

TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556

E-mail: osaka@sasaeru.or.jp

\* 去る2019年10月12日に開催予定していた研修会は、台風接近のため中止になりました。 参加ご予定いただいていた皆様には、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。 この度、改めて3月に、開催することになりご案内申し上げます。



No.110

大 全 玉 阪 重 府 症 重 症 心 身 心 身 害 障 児 害 児 者 者 大<sub>を</sub> を 阪守 支 る え 会 る 슾

守る会三原則

★ ★ ★ 最党も親に決 も派、個弱し 弱を重人いて い超症がも争 もえ児いのっ のるこかのて をこ者な生は と運るきい 運るしるけるままり に義 すが るあ 者って の

例年開催しております「支える会セミナー」につきまして、この度は、 大阪母子医療センターの位田忍先生をお迎えし、講演をしていただく ことになりました。重症児者が暮らし続けていくために欠かせない 医療について、そして、今回は「移行期医療」について、家族の方々 を対象に、お茶を飲みながら、ゆっくりとした雰囲気の中でお話を 伺いたいと考えています。

関心のある方はこの機会に是非ご参加ください。

時: 令和 2 年 2 月 2 9 日 (土)

13:30~15:00 (受付13:00~)

あべのハルカス会議室D (25F)

(大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 TEL 06-4399-9077)

氏 (大阪母子医療センター)

医源について」(仮題)

~ 移行期医療支援センターの取組み ~

参加費: 500円(当日支払い)※ 大阪府重症心身障害児・者を支える会会員は無料

主 催: 大阪府重症心身障害児・者を支える会

ご家族 定 員: 30名 申込締切: 定員になり次第

申 込: 大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局

(問合せ) TEL:06-6624-2555 FAX: 06-6624-2555 6

など命を粗+ ない」とま なる主義主 など命を粗+

メール:osaka@sasaeru.or.jp

◎下記事項をご記入の上、FAX、またはメールにて申込み下さい。 支える会セミナー申込書 (R 2. 2. 2 9) 、氏名(ふりがな)、 〒、住所、TEL (FAX) 、会員の有無、職種・所属・家族など

**大阪市北区南森町** 五三〇 体障害者! 〇〇五四 価

(会員の方は会費の中に含まれてい

五〇

五〇

大阪市阿倍駅(事務局)〒5編集・責任者 阪府重(振替[ 0 0

ΑE

ま 初 ねク め つ 落

報道では、

の

ります はじい申

編 後 記 大阪市長松井一郎 展

#### 要 望 書

平素より、本会並びに医療的ケアが必要な方を始めとして重症心身障害児者の福祉に多大なご支援を賜り 誠に有難うございます。

また、大阪市におかれては、「重症心身障がい児者の医療コーディネート事業」等を始めとして重症心身障害児者の福祉に積極的に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

ただ、そうした中にあっても、まだ、重度の障害がある方にとって地域で暮らしていくための環境は常に大きな不安の中にあります。多くの方々にご尽力をいただいているにもかかわらず、人材不足の影響も含めて今まで以上に厳しい状況になっています。

それは、地域生活の要とも言えるホームヘルパー等の利用に際して、ヘルパー不足という理由で必要なサービスを必要な時に受けられないという実態です。これは、既に慢性化しているとも言える状況であり、特に介護度の高い方には影響が大きいものです。

また、親を始めとした家庭での介護力の低下、或いは、親亡き後の暮らしの場としての一つの、そして重要な選択肢としてのグループホームについて、特に、医療的ケアを含めた特別な配慮が必要な方のためのグループホームの設置については、環境面(トイレ、浴室、エレベーター等)の整備が必要であっても、コスト面も含めてハードルが高く整備が進んでいるとは言えない状況です。特に、土地価格が高い都市部では顕著といえます。

私たちが常に願っているものは、たとえ障害が重くても誰でもがそうであるように自分らしく人生を送ってくれることです。重症心身障害児者は医療を含め様々な配慮が必要です。多くの方々の理解と支援がなければ命さえ危険にさらされ、生活をすることも困難な存在です。弱い者を切り捨てることのない社会、そして、その弱い者の姿に自分を重ね合わせることが出来る意識が共生の社会の基本であると信じます。

重症心身障害児者のおかれている状況に何卒ご理解を賜り、右記の事項について実現していただけますよう要望致します。

#### 要望の内容

- ○医療的ケアが必要な方を含めて、重度の障害がある方々のためのグループホームの整備促進のための施策を早急に行ってください。また、規模等については定員にこだわることなく、利用者の生活単位(食事や入浴、トイレ等の共用による区分等)を出来る限り少人数に設定し、個別性に配慮できる環境になるようにして下さい。
- ○医療が必要な重症心身障害児者に対して、医療を含めトータルに対応できる多機能型拠点施設(仮称)の整備をしてください。(相談支援、短期入所(日中含む)、診療所、訪問看護、訪問介護などのサービスを総合的に提供するようなもの)
- ○ショートステイ利用時の送迎をしてください。(実施箇所が少なく、偏在しており、送迎が出来ないため 利用できないことがある)
- ○ヘルパー不足によりサービスを利用できないことが無いようヘルパーの確保について対策を講じてください。
- ○通学に際して、特に医療ケアが必要な生徒が、親・家族の同伴(学校での付添い)、送迎が無くても教育 (通学等含む)が保障されるように支援をして下さい。
- ○地域生活支援事業における移動支援について、通学等に際して利用できるようにするなど柔軟な対応ができるようにして下さい。 (スクールバスへの乗降を含む)



和元年十二月六日提出

大阪府知事 吉村洋文 殿

#### 要 望 書

平素より、本会並びに医療的ケアが必要な方を始めとして重症心身障害児者の福祉に多大なご支援を賜り 誠に有難うございます。

また、大阪府におかれては、「重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業」等を始めとして重症心身障害児者の福祉に積極的に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

ただ、そうした中にあっても、まだ、重度の障害がある方にとって地域で暮らしていくための環境は常に 大きな不安の中にあります。多くの方々にご尽力をいただいているにもかかわらず、人材不足の影響も含め て今まで以上に厳しい状況になっています。

それは、地域生活の要とも言えるホームヘルパー等の利用に際して、ヘルパー不足という理由で必要なサービスを必要な時に受けられないという実態です。これは、既に慢性化しているとも言える状況であり、特に介護度の高い方には影響が大きいものです。

また、親を始めとした家庭での介護力の低下、或いは、親亡き後の暮らしの場としての一つの、そして重要な選択肢としてのグループホームについて、特に、医療的ケアを含めた特別な配慮が必要な方のためのグループホームの設置については、環境面(トイレ、浴室、エレベーター等)の整備が必要であっても、コスト面も含めてハードルが高く整備が進んでいるとは言えない状況です。特に、土地価格が高い都市部では顕著といえます。

私たちが常に願っているものは、たとえ障害が重くても誰でもがそうであるように自分らしく人生を送ってくれることです。重症心身障害児者は医療を含め様々な配慮が必要です。多くの方々の理解と支援がなければ命さえ危険にさらされ、生活をすることも困難な存在です。弱い者を切り捨てることのない社会、そして、その弱い者の姿に自分を重ね合わせることが出来る意識が共生の社会の基本であると信じます。

重症心身障害児者のおかれている状況に何卒ご理解を賜り、右記の事項について実現していただけますよう要望致します。

#### 要望の内容

- ○医療的ケアが必要な方を含めて、重度の障害がある方々のためのグループホームの整備促進のための施策を早急に行ってください。また、規模等については定員にこだわることなく、利用者の生活単位(食事や入浴、トイレ等の共用による区分等)を出来る限り少人数に設定し、個別性に配慮できる環境になるようにして下さい。
- ○医療が必要な重症心身障害児者に対して、医療を含めトータルに対応できる多機能型拠点施設(仮称)の整備をしてください。(相談支援、短期入所(日中含む)、診療所、訪問看護、訪問介護などのサービスを総合的に提供するようなもの)
- ○ショートステイ利用時の送迎をしてください。(実施箇所が少なく、偏在しており、送迎が出来ないため 利用できないことがある)
- ○ヘルパー不足によりサービスを利用できないことが無いようヘルパーの確保について対策を講じてください。
- ○通学に際して、特に医療ケアが必要な生徒が、親・家族の同伴、送迎が無くても教育(通学等含む)が 保障されるように支援をして下さい。



P和元年十二月十七日提出

## 年金等の相談会の制案内

少しずつですが利用される方も増え、喜んでいただいておりますこと に、ご協力いただいておりますアヴァロン事務所の伊藤先生に厚く感謝申し上 げると共に、今後とも皆様に活用していただきますようお願い申し上げます。 年金に関することだけでなく、お気軽にご相談いただきましたら幸いです。

●日時: 〔1月〕 **2020年1月18日 (土)** 

[3月] 2020年3月21日(土)

[2月] 2020年2月15日(土)

いずれも AM10:30~12:00

●場所: **ゆらっとステーション** 大阪市住吉区万代東1-3-19 (1F面談室) t. 06-6696-9977

●費用: 無 料

●申込問合先: 大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局 t.06-6624-2555 / f.06-6624-2556

# 第29回 近肢連療育研究大会

目的: 日常の療育活動における研究や工夫などを発表・討論する中で肢体不自由児療育

施設職員の資質向上と職員間の交流をはかることを目的とする

**日時:** 令和 2年 2月 8日 (土) 10時~16時

**会場:** サンスクエア堺 (B棟1階サンスクエアホール)

プログラム: (午前) 基調講演 「医療と福祉で関わる発達の障がい」

大阪母子医療センター(子どものこころの診療科副部長) 平山 哲氏

(午後) 演題発表 6題

主催: 近畿肢体不自由児療育施設連絡協議会

問い合わせ: 第29回 近肢連療育研究大会 事務局(近肢連Dブロック)

四天王寺悲田院児童発達支援センター 谷口 (TEL:072-957-7516)

詳細(ホームページ): http://kinshiren.jp/



# 会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

<郵 便 振 替> 00930-9-69598 大阪府重症心身障害児・者を支える会

<問い合わせ>

TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556

### 「支える会」事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティーセンター2階 大阪府重症心身障害児・者を支える会 会長 山村 寿子

TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2556 <郵便振替≫ 00930-9-69598

### 支える会ホームページのご案内

ドメイン名 http:///www.sasaeru.or.jp/メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメール や掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクおり、

# 第57回 重症心身障害児(者)を守る全国大会(案)



□時: 令和2年6月27日(土)、6月28日(日)

会場・札幌パークホテル

北海道札幌市中央区南10条西3丁目1番1号 TEL.011-511-3131 FAX.011-531-8522

主催: 全国重症心身障害児(者)を守る会

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会

北海道重症心身障害児(者)を守る会

### クリスマス会 感想文

支える会のクリスマス会が12月22日(日)、大阪国際交流センターにおいて行われました。 前半はお食事タイム!!

オシャレでかわいらしくおいしそうなお料理がズラッと並び皆さん思い思いにお皿に取り楽しく美味しくいただきました。

参加者さんへのインタビューではマイクをかたく握りしめ、たくさんお話しをしていただけました。 後半は、ライオンズクラブの皆さんのショータイム!!最初に手動式の蓄音器でジングルベルの音楽 に耳をかたむけ、次いでバイオリンの演奏やギターとボーカルのライブ。そして、歌合戦など盛りだく さんのメニューで盛り上がり、最後はお楽しみの大ビンゴ大会!!「リーチ」や「ビンゴ」の声がにぎ やかでアッという間に沢山用意していただいた賞品もなくなり時間に押されておひらきとなりました。

娘は最初、人の多さと初めての会場、知らない人達に囲まれて少々パニック気味で皆さんにご迷惑をおかけするほど大きな声をはりあげていました。しかし、皆さんのご配慮のおかげで特設の居場所を作っていただき、又顔見知りのお友達が横に座っていただいたおかげで、やがて機嫌が良くなり後半の音楽が始まると笑顔も出て手拍子をしたり「ハイッ」と大きな声で返事をしたりと楽しむことができました。ライオンズクラブの皆様、毎年楽しい企画を有難うございました。来年も楽しみにしております。



# 情報大阪きょうだいの会例会「きょうだいカフェ」へのお誘い



「障害」という言葉がスティグマ(社会的烙印)として働く世の中では、障害児者とその家族に対して絶えずネガティブ(否定的)な眼差しが注がれています。世間では「美しい家族愛」の物語が語られ、私たちにとっては大きな圧力となり、「生きづらさ」を生み出します。

背景にあるのは「自己責任」「自助努力」という言葉に深く潜む社会意識です。残念ながら、現実社会で日々生きる私たち家族もいつのまにか同じような「ものの見方、考え方」に囚われてしまいがちです。

私たちは人生で様々な困難に出会います。その時々 の体験や複雑な感情にフタをして頑張っていると厳し

い日々の暮らしの中で追い込まれ、それが許容量を超えると「自分を大切にしたい」「人間らしく生きたい」 という気持ちが萎えてくる時があります。「しょうがない。自分が悪いんだ・・・」「自分は誰からも必要と されていない・・・」とだんだん自己評価が低くなっていき、自分を責めるネガティブな思考回路に陥り、 そこから離れていくことが困難になります。そして、問題を独りで抱え込み、世の中から孤立してしまいます。

「孤立死」「無理心中」などの悲惨な事件がニュースになるたびに「なぜSOSを出さないのだ・・・」と 言う声が周囲から聞こえてきます。しかし、人は自分に自己肯定感がないと「助けて」という言葉はでて きません。

これは親も、障害のある本人も、きょうだいも同じだと思います。

大阪きょうだいの会は障害児者の兄弟姉妹の自助グループ(セルフヘルプ・グループ)です。老若男女、 障害の有無を問わず、誰もが「生きていて良かった」と言えるような世の中であってほしいと願っています。

例会(きょうだいカフェ)は「語りと傾聴」の場です。「きょうだい」としての自分の生きづらさ・悩み・不安などを仲間に話し・聴いてもらう場、もやもやとした感情を吐き出す場、生き直しの場です。そして、自分が抱えている問題を仲間のサポートを受けながら、自分自身で解決の道を探っていくことをめざしています。

私たちが大切にしていることは、「同じ境遇の仲間がいる」「みんな自分の話に真剣に耳を傾けてくれている」「きょうだいの混沌とした感情や思いが一方的に否定されることがない」「説教されることがない」「ここは安心できる場だ」という参加者の実感です。

毎回の参加者は10名前後の小さな集まりです。年齢は20代~70代と幅広く、女性が少し多いです。 例会の後は、自由参加のアフタートーク(居酒屋での飲み会)も行なっています。よろしかったら足をお運びください。歓迎します。

●第56回例会= 3月22日(日)	国労大阪	2階、第1小会議室	13:15 開場・受付	対象 = 概ね18歳以上の障害児者の 兄弟姉妹(きょうだい)に限定
●第57回例会= 5月24日(日)	阪会館	2階、第2小会議室	13:30 ~ 16:45	参加費=1,000円(会場費・資料代・通信費など)

\*会 場=国労大阪会館(大阪市北区錦町2-2、JR大阪環状線「天満」駅から東へ徒歩5分、

 $\mathbf{a} = 0.6 - 6.354 - 0.661$ 

\*申込み=事前に参加のご連絡をいただければ助かります(電話、ショートメール)。当日参加も歓迎です。 【問合せ】 大阪きょうだいの会 世話人 090-2384-9368 (溝上)

#### 大阪府 「医療的ケア児等支援者実践報告会 |

【大阪府医療的ケア児等支援者養成研修(フォローアップ研修)】

現に医療的ケアが必要な方たちを支援し、地域での生活を支えている医師・看護師・訪問看護師・相談支援専門員・福祉事業所が「退院から地域での生活」に関し、それぞれの立場から実践していることやその支援の中で医療従事者は福祉従事者に知ってほしいこと、福祉従事者は医療従事者に知ってほしいことなどを報告しあうことで、その実践から培われた知識を習得し、地域で連携して医療的ケアが必要な方たちを支えるには、それぞれの立場からどのようなことができるのか、を実感してもらいたいと思います。会場では参加者での意見交換会も実施します。研修講師も会場内を回りながら意見交換に参加いただきます!ふるってご参加ください!

**日 時: 令和2年2月 15 日(土曜日)** 午前10時から(開場:9時30分)

場 **所: 大阪私学会館 4 階講堂**(住所: 〒534-0026 大阪府大阪市都島区網島町 6-20)

**定員:** 220名 **参加費:** 無料

※受講対象: 現に医療的ケアが必要な児者の支援を行っている者等

※定員に達し、ご参加いただけない場合は事務局より連絡いたします。 (大阪府内の方を優先します。)

※席に限りがありますので、参加希望の方は F A X もしくは以下のメールアドレスに、タイトルを**「医療的ケア児等支援者実践報告会** 

の申込み」として、氏名・所属・職種・連絡先(電話・FAX・メールアドレス)をお知らせください。

※本研修は、計画相談支援及び障がい児相談支援における「要医療児者支援体制加算」の対象ではありません。 悪しからず、ご了承ください。

問い合わせ先: 大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課

電話 06-6944-6671 / ファクシミリ 06-6944-2237

メール: chiikiseikatsu@sbox.pref.osaka.lg.jp

※詳 細: 大阪府ホームページ

http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikiseikatsu/shogai-chiki/iryotekicareshienfol.html



大阪府指定番号No31

### 重度訪問介護従業者養成研修(統合課程) のご案内 [土 日コース] 5日間

地域において重度の障害がある方が生活していくために、多様な ニーズに基づく、多岐にわたる介護サービスが不可欠です。本講座 は、重度障害者の多様なニーズに適切に対応した介護サービスを提 供できるヘルパーの養成を行い、人権に対する理解を深め、介護技 術及び専門知識等について習得することを目的に開講します。

1 5 1 0 0

開 講 日: 令和 2年 2月 1日(十)、2日(日)、15日(十)、16日(日)、22日(土)

会 場: ゆらっとステーション ※ 大阪メトロ御堂筋線「西田辺駅」徒歩12分 ※ 阪堺電軌上町線「姫松駅」徒歩 9分 ※ 大阪シティバス「播磨町」徒歩1分・系統62636467(あべの橋より)・系統54A-B(西田辺より)

受講資格: 障害児者の福祉に熱意があり、居宅介護業務に従事しようとする方で5日間受講できる方

申込み方法: 次の事項を記入の上、FAX、ハガキ、E-mailにてお申し込み下さい。

(氏名、ふりがな、郵便番号、住所、TEL)

**用**: 15,000円 (テキスト代、消費税含む)

\*受講料納入を確認後、受講票送付をもって受講決定とします。

郵便振替: 00920-8-174979

口座名義: 社福 大阪重症心身障害児者を支える会〔 フク)オオサカジュウショウシンシンショウガイジシャヲササエルカイ〕

主 催 者: 支える会研修センター

**申 込 先:** 〒558-0056 大阪市住吉区万代東1丁目3番19号 ゆらっとステーション内

TEL 06-6690-5360 FAX 06-6696-9955

E-mail: center@sasaeru.or.jp

定 員: 20名

※ 統合課程:これまでの重度訪問介護研修(基礎・追加)を含んだ課程です。喀痰(かくたん)吸引のための研修(いわゆる3号研修)の講義(演習)が含まれています。